

健康増進センター広報誌『健康ワンダーランド』です。今回は“新規導入検査”について取りあげてみました。

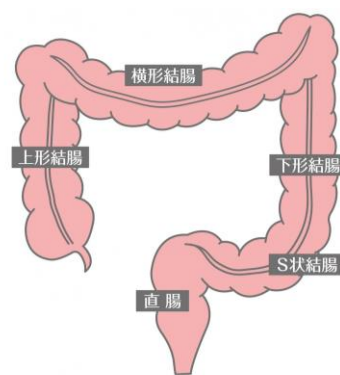
新たに導入した健診項目“大腸CT検査”と“シスタチンC”について

健康増進センター 健診支援課 課長 田口 久美子

今回は、本年度よりオプション検査項目として導入しました“大腸CT検査”と“シスタチンC”に焦点を当て、検査内容と実施する意義について、ご説明いたします。

【大腸CT検査について】

画像診断装置の大腸CT検査とは、肛門からカテーテルを挿入し、それを用いて二酸化炭素を注入し大腸を拡張、CT を撮影することで、大腸の立体画像を作成し、大腸の腫瘍性病変を検出する検査です。検査前に服用していただく下剤の中に、少量のバリウム(造影剤)を混入し、腸の中に残った便と病変が区別できるようにし、撮影します。日本では、主に大腸がん術前検査法として行われてきましたが、近年、大腸がんによる死亡率の増加(2021年がん死亡原因で男性は2位、女性は1位)を受け、新たな大腸がん検診として注目されるようになりました。



大腸の構造

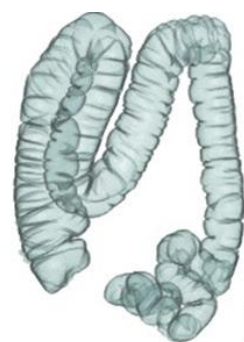
● 大腸CT検査の長所と短所について

【長所】

- ①カテーテルの挿入は肛門から15cm程度であり、大腸全体に内視鏡(カメラ)を挿入することはないため、苦痛が少ないことが期待できます(特に大腸内視鏡の挿入が困難な方も痛みを最小限に受けることが期待できます)。
- ②下剤の服用量が少なく、大腸内視鏡検査時の約半量(800ml程度)となります。
- ③鎮静剤や鎮痛剤の使用はしません。
- ④検査時間が短く、検査の所要時間は一般的に10~15分程度です。

【短所】

- ①大腸内視鏡検査とは異なり平坦な病変は検出が困難です。
- ②放射線被ばくがあります。



大腸の立体画像

※大腸CT検査ができない方

- ①妊娠中の方及び現在妊活中の方(放射線被ばくや腸管への刺激のため)
- ②高度の腎機能障害がある方(服用する下剤にマグネシウムが含まれているため、吸収されたマグネシウムの排泄が遅延することにより血中マグネシウム濃度が上昇する恐れがあります。)
- ③活動性の炎症性腸疾患、直近で腸閉塞を発症された方や腸の手術をされた方
- ④腹壁(撮影範囲内の体幹に)ペースメーカーなどを設置されている方
- ⑤直腸脱や内痔核をお持ちの方
- ⑥人工肛門を造設されている方 など

⇒ 次ページへ

● 大腸CT検査の流れについて

前日

こちらで準備した検査食を朝、昼、夜に摂っていただきます。
※食物アレルギーがある方は事前にお知らせ下さい。



当日

【検査前】 下剤、造影剤(バリウム)等を調合した腸管洗浄液を800mlほど1時間程度で内服していただきます(来院した後に当センターで服用していただきます)。内服して1~2時間ほどで排便が始まり、複数回の排便後、残渣が無くなり、薄い黄色の液状の排便となったところで検査が開始できます。



【検査】

午後からCT室に移動し検査を実施します。

- ①腸の蠕動運動を抑える目的で、上腕に筋肉注射を行います(使用する薬剤名はブスコパンです)。
- ②肛門からカテーテルを挿入し、二酸化炭素を注入します。
- ③仰向けとうつ伏せで2回、CT撮影を行います。撮影終了までお腹が張った感じがあります。検査が終了するまでの10分程度、ガスが出ないように我慢が必要です。
- ④検査が終了した後は、トイレで排ガスしていただいて構いません。出ない場合も20分程度で殆どのガスが吸収され、次第にお腹の張りは改善されます。



【検査後】

検査当日の結果説明はありません。後日書面でのご報告となります。結果説明のご希望がある場合や治療を必要とする結果があった場合は、後日ご予約の上、来院していただきます。検査当日は、特に食事制限、行動制限がありません。

オプション料金

22,000円 (税込)

※事前にご予約が必要となります。

【シスタチンCについて】

シスタチンCは、血液に含まれるタンパク質の一種で、早期の腎機能障害のマーカーとして用いられています。シスタチンCは、体内のあらゆる細胞で生成されますが、腎臓に流れ着くとほぼ全てのシスタチンCは分解されて尿と共に体外へ排出されます。このため、腎機能の低下が生じるとシスタチンCの分解と排泄が正常に行われなくなり、血液中のシスタチンC濃度は上昇します。この性質を利用し、シスタチンCは、腎不全や糸球体腎炎、腎硬化症などの腎機能低下を引き起こす病気の鑑別診断やフォローアップ、スクリーニングを目的に測定される検査項目のひとつとなっています。腎機能を評価する指標として、これまで血清クレアチニンを用いてきていますが、シスタチンC値は筋肉量や年齢に影響を受けずに、より正確に腎機能の状態を示すことが可能であるため、新たに腎機能を調べる検査として、2005年に保険適応が認められました。

当施設での腎機能検査は、基本、血清クレアチニンとその換算値のeGFRで行っていますが、それらに異常が認められ、医師の判断で追加検査が必要な方を対象に、シスタチンC検査を勧奨させていただいています。

基準値

男性 : 0.58~0.87
女性 : 0.47~0.82
(mg/L)

オプション料金

1,320円 (税込)

※外部委託項目となりますので、結果報告に2~3日程度要します。

◆ 第24回九州沖縄健診施設研究会大会に参加しました！

九州沖縄健診施設研究会は、九州内の健診施設が交流を通して意見交換を行い、予防医学活動従事者の資質向上を図ることによって、予防医学の発展に貢献をすることを目的としている団体です。本大会が2023年2月25日、26日の両日、熊本城ホールで開催され、当施設からも5名の職員が参加しました。これまでも、学術大会や様々な研修会を開催されておりましたが、コロナ禍の3年間はウェブ研修会でしたので、久しぶりのリアル開催となり、他県の健診施設職員と交流することが出来ました。本大会は「One Kyushu Okinawa～原点を知り、次世代へ繋ぐ～」をテーマに、日本人間ドック学会の荒瀬理事長からは、健診施設、予防医療従事者が、健診受診者に対し、独自性やこだわりのある価値を提供していくこと（ブランディング）の重要性について、ご講演いただきました。当センターからは、受診者満足度継続調査から見てきた課題と改善に向けた取組みについての演題発表を事務職員が行いました。



九州沖縄健診施設研究会におきましては、2023年度より2年間、当施設が代表幹事施設として、運営に携わることとなりました。来年の2月17日、18日の両日、本研究会大会を佐世保市（アルカス佐世保）にて開催させていただきます。

今後も、本研究会の施設間の情報交換と連携を図り、予防医学の質向上に努めていきたいと思っております。



◆ 健康増進センタースタッフ紹介



健診支援課
臨床検査技師
かたふち さき
片刈 沙紀

昨年10月より、臨床検査技師として健康増進センターに勤務している片刈です。主に、腹部超音波検査、心電図、眼底検査を行っています。昨年、超音波検査士（健診領域）の資格を取得致しました。当センターでは、人間ドックで超音波検査を受けることができますので、是非一度、人間ドックを受診されてみて下さい。お待ちしております。

超音波検査士（健診領域）とは

超音波検査士とは、日本超音波医学会が認定する資格制度であり、進歩する超音波技術を活用し検査技術を磨き、医療に貢献していく技師を育むことを目的としています。各専門領域に分けられており、健診領域の超音波検査士に求められることは、臨床症状のない被験者の「異常所見の拾いあげ」であり、そのためには超音波解剖を踏まえた上で、対象臓器をくまなくきちんと検査できることが基本となっています。

資格試験は、臨床検査技師・看護師・放射線技師のいずれかの資格をもち、なおかつ日本超音波医学会または日本超音波検査学会に3年以上所属したものと及び実務経験者に受験資格が得られます。試験内容は、機器の原理や音響工学等に関する基礎編と各専門部門の症例編になっており、高度な知識が求められています。

佐世保中央病院 健康増進センター 基本理念と基本方針

【基本理念】

受診者の健康を支援し、活力のある地域社会の実現に貢献します。

1. 生活習慣病の早期発見と予防の啓発に努め、健康の維持・増進をサポートします。
2. 検査技術や診断機器の精度向上を常に心がけ、質の高い健康診断を提供します。
3. 健康診断や保健指導を通して、受診者のライフスタイルを考えた継続的な支援を行います。
4. すべてのスタッフが相互に協力・連携して、受診者の皆様に満足いただけるサービスを提供します。
5. 健康診断業務で得られた個人情報の守秘義務と、受診者ご自身の知る権利を遵守します。

健康増進センター 診察担当医

	月	火	水	木	金
午前診察	常勤医 : 中尾・寺園・川内 非常勤医 : 元永・原・藤田・石嶋・安達				
午後診察	※ 毎日2~3名の医師が担当いたします				
婦人科検診	石丸	石丸	石丸	石丸	石丸

健診に関するご予約・お問い合わせについて

☆健診をご希望の方は、**完全予約制**になっておりますので、健康増進センター窓口にお越しいただくか、お電話およびホームページからのご予約をお願い致します。

○お問い合わせ時間

月～金曜日 9:00～12:00 13:00～16:00

○休診日 土・日曜日、祝日 8月14日～15日（夏季） 12月30日～1月3日（年末年始）

【健康増進センター直通】

電話番号 (0956)33-5335

FAX番号(0956)33-5336

メールアドレス sch-kenkoh@hakujujikai.or.jp

右のQRコードをご登録してアクセスいただければ
当施設ホームページから人間ドックのご予約ができます。



編集後記

新型コロナウイルス感染症の法律上の位置づけが変更になりましたが、当院でのマスク着用、自覚症状および検温確認等は、継続させていただきます。ご理解とご協力をお願い致します。

今回は、新規検査項目についてご報告いたしました。ご参考いただければ幸いです。

本院の広報誌発行時期の見直しに伴い、本誌 健康わんだーらんどの発行を年4回から年2回に変更させていただきます。次号は、本年12月頃を予定しています。